

和歌山港湾事務所におけるSDGsの取組について

私ども和歌山港湾事務所では、以下の取組をはじめとする各種施策を通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、和歌山県内における活動を通じ、地域の一層の発展を図って参ります。



わかやましもつこう ほんこう

和歌山下津港本港地区国際物流ターミナル整備事業

和歌山下津港本港地区では、船舶の大型化に対応するため、航路、泊地、防波堤等の整備を行っています。

大型船舶(必要水深13m)による効率的な一括大量輸送が可能となることから、地域産業の輸送コスト削減による競争力強化、サプライチェーンの強靱化、安定的な物流網の確保、CO₂及びNO_xの削減などが整備効果として期待されます。



きれいな海を未来につなぐ、海洋環境整備事業の推進

海面に浮遊するごみや流木は船舶の安全な航行に支障となります。また、海難事故等による大量の油流出は生物への影響も甚大です。当事務所配備の海洋環境整備船「海和歌丸」は、これらの回収を行っています。

海洋環境の大切さを伝えるため、学校や地域のイベントへ等への参加を積極的に行っています。

【目標】 海洋環境の保全を継続



海洋環境船「海和歌丸」



回収されたゴミ



現場見学・出前講座等の実施

和歌山港湾事務所では、コミュニケーション型行政の推進や未来の担い手を確保を目的に、学生へ「現場見学会」・地域の皆様を対象にした「パネル展」、小学生に、港の役割に関することについて紹介する「出前講座」を開催しています。参加費用は無料です。申し込みは事前に(1ヶ月前までに)ご連絡をお願い致します。

【目標】 現場見学・出前講座・パネル展の実施を継続

